

令和7年度 江戸川区立小岩第五中学校 特別活動全体計画

校長名 前本 大智

【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領	学校の教育目標 ○健やかな人 ○知性に富む人 ○心豊かな人 ○勤労を尊ぶ人	【地域の実情】保護者は協力的である。 【学校の実情】ボランティアや学校行事等に一所懸命に取り組む。 【生徒の実態】明るく素直さがあるが、自主性に乏しい面がある。 意志が弱く諦めやすい。 【教師の願い】自己実現に向けて努力する生徒・集団のために尽くす生徒・自然や生命を尊ぶ生徒を育てる 【保護者の願い】思いやりのあるやさしい子・粘り強い子・他人に迷惑をかけない子・自ら学ぼうとする子を育てる
---	--	---

特別活動の目標	生徒の自治的・自主的な活動の機会を多くつくり、よりよい人間関係の形成を目指し、自他を尊重し集団に貢献する態度を育成する。
---------	--

目指す生徒像	①多様で変化に富んだ時代に希望をもって主体的・意欲的に生き、将来を切り拓くことができる生徒 ②小岩第五中学校で自らの課題に挑戦し、向上心と自立心の旺盛な生徒 ③目標を達成するために、正しい方法論で、あきらめずに粘り強く主体的に取り組む生徒 ④たくましく豊かな心や自分だけでなく他に対して思いやりをもてる生徒 ⑤基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康な生徒 ○自らが成長する ○共に成長する ○心を磨く ○形を磨く ○地域に貢献する
--------	--

特別活動の重点目標	集団活動や体験的活動を通して、意欲的に行動する力、積極的に人とかかわる力、自ら社会に貢献する力と強い心をもった生徒を育成する。
-----------	---

		学級活動	生徒会活動	学校行事
目標		互いの存在と個性を認め合う良い人間関係を築き、他者と協力し、自己の責任を果たすことにより、学級の一員としての自覚と、よりよい生活づくりに努める意欲を育てる。	生徒の主体的な活動により、学校の諸問題を解決し、良い校風づくりを進める力を育てる。	様々な種類の行事を設けて、多くの生徒に活躍の場を与える。学級や学年の枠をこえて協力する活動により、質の高い学校文化・伝統を築く。
指導の方針		○いじめを許さない、正義の通る学級づくりを図る。 ○共感的で肯定的な人間関係の構築を目指す。 ○他者と協力する力と自分の役割を果たす責任感を育てる。 ○集団決定をし、集団で実施する文化をつくる。 ○教科学習や進路学習を通して、考え・発表し・聞く力を養う。	○委員会活動を活発にし、生徒自身の力で快適な学校生活をつくる。 ○生徒会本部役員の積極的な呼びかけや活動により、学校に前向きな雰囲気を広げる。 ○地域のイベントやボランティア活動に協力し、自信と充実感をもたせる。	○行事を通して生徒に活躍の場を与え、努力と成果を認め伝えることを通して、自信と意欲につなげる。 ○行事の取組により、学級や学年の団結を深め、学校全体の士気をあげる。 ○保護者・地域に公開し、信頼され愛される学校づくりを進める。
主な指導内容		○build-up time、朝読書を通して、自ら学ぶ習慣を身に付け、助け合い学習により基礎学力の定着を目指す。 ○学級討議・学級指導により、学級の諸問題を発見し、自分たちで解決・改善する力を育てる。 ○思春期の不安や悩み、進路についての知識などをみんなで共有し、支え励まし合える人間関係をつくる。 ○班活動を重視し、小さな社会の中で自己の役割を認識し、他者と関わる力、コミュニケーション能力を伸ばす。	○生徒会活動の計画や運営指導：生徒総会・生徒会役員会・中央委員会・生徒会役員選挙 ○生徒会役員主催行事を通じた歓迎の心の醸成：新入生歓迎会・新入生体験入学 ○各種専門委員会による活動の計画や運営指導 ○学校行事への協力：運動会・文化祭等 ○ボランティア活動などの地域社会活動への参加：地域まつりやイベント・防災訓練・朝のあいさつ運動	○儀式的行事：入学式・卒業式・始業式・終業式・修了式・離任式・壮行会 ○文化的行事：文化祭・作品展・合唱コンクール・弁論大会・百人一首大会・音楽鑑賞教室 ○健康安全・体育的行事：健康診断・身体体力測定・運動会・水泳教室・球技大会・連合陸上大会・セーフティ教室 ○旅行・集団宿泊的行事：遠足・校外学習・林間学校・修学旅行・卒業遠足 ○勤労生産・奉仕的行事：職場体験や職場訪問、地域イベントやボランティア協力
他の教育活動との関連	各教科・読書科	○学級で感想や意見を発表する力を伸ばし、その力を各教科での活動につなげるとともに、各教科の授業で伸ばした発表力を学級活動へ生かす。	○生徒会活動で学校全体や地域の課題を考えて身につけた広い視野で、物事を考える力を各教科での活動につなげるとともに、各教科で学んだ世の中についての知識を生かして、社会貢献活動に参加する行動力を引き出す。	○各教科の成果を作品展で発表する。 ○国語授業で弁論大会や百人一首の練習を行う。 ○音楽授業で音楽鑑賞教室の事前学習を行う。 ○体力測定・運動会・球技大会などと体育授業との関連を図る。 ○旅行・宿泊行事に向けた事前、事後学習にて、各教科学習の成果を生かす。
	特別の教科 道徳	○思いやりの心、友情、協力、奉仕、生命尊重などのテーマを扱い、人間関係づくりや改善を図る。 ○感想や意見を発表する経験を通して、学級の諸問題を解決する力を伸ばす。	○生徒会活動やボランティア活動などのテーマを扱い、生徒が学校や地域の様々な活動に積極的に参加しようとする態度を育てる。	○集団生活や社会のルール・マナーを守ろうとする意識を育て、行事に前向きに取り組む、儀式に真剣に参加しようとする態度を育てる。
	総合的な学習の時間	○行事に向けて学級での決めごと、話し合い、作業に取り組みながら、集団の中で他とかかわり合いながら自己の多様な能力を伸ばす。	○よりよい学校生活に向けた生徒会活動を通して、生徒自身が培った能力を総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。 ○様々な生徒会活動において、校内の課題を発見する力、見通しをもち情報を収集する力・分析する力、全体に向けて発信していく力を高めるとともに、活動をよりよくしようとする向上心を育む。	○旅行・宿泊行事の事前・事後学習で、自分で調べてまとめる力を育てる。 ○職業や上級学校調べに取り組み、自分の将来の進路について考え、目標やイメージをもたせる。 ○行事実行委員会、係活動において、全体を見渡し、計画、実行、評価、改善の目線に立って生徒が活動できる力を高める。
家庭や地域との連携		○学習の成果、生活の様子などを生徒自身が振り返り、記入した用紙やファイルを保護者に見せて、励ましのことばをもらい、生徒に目標をもたせる。 ○社会教育施設でのイベントに参加したり、学習スペースとして活用することを勧めたり、地域の人材を活用してゲストティーチャーによる学級講話を行ったりして、地域と連携した教育活動を工夫する。	○生徒会本部が呼びかけて、地域のイベントやボランティア活動に参加する機会をつくり、社会貢献の体験をさせる。 ○生徒会役員が小学校を訪問したり、小学生を中学校に招いたりして、小・中の連携を勧めたり、地域での生徒会交流などに参加させ、自校に対する誇りと愛着をもたせる。	○多くの行事を保護者、地域に公開する機会を設け開かれた学校づくりを目指す。
備考				